

研究課題番号	2-1902
研究課題名	環境中に放流された排水由来 GHGs 排出メカニズムの解明と排出量算定方法の検討
研究実施期間	令和元年度～令和3年度
研究機関名	東洋大学
研究代表者名	山崎 宏史

#### 1. 委員の指摘及び提言概要

これまで、海外の観測結果に基づく IPCC の排出係数に準拠して算定されていたわが国の下水道処理水等から発生する温室効果ガスの排出量算定手法の精緻化と、その排出量削減のためのモデル開発を行い、研究目標どおりの成果を上げ、さらに、温室効果ガス排出量算定方法に関してわが国の実態を反映した排出係数を求め、我が国の温室効果インベントリへの早期反映が見込まれる成果を挙げている。成果を裏付ける学術論文も作成されている。一方で、インベントリの便宜上河川の水質類型を用いていることに関する留意点の整理、大雨など短い時間スケールで変動する排水の扱い等の課題も残されている。

#### 2. 採点結果

評価ランク：A